

生薬解説一

# 黄耆

Astragali Radix

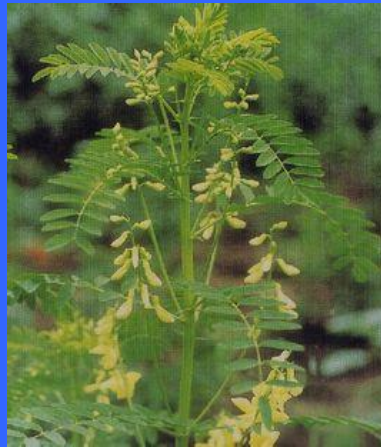
黄 懷龍

当資料の転載、複製、改変等は禁止いたします。

# 【基原産地】

黄 耆

おうぎ



出 典

神農本草經の上品

基 原

マメ科(Leguminosae)の①キバナオウギ  
*Astragalus membranaceus* Bunge又  
は②*A. mongholicus* Bungeの根

産 地

①北海道,茨城県,岩手県,青森県;黒竜江省、  
内モンゴ、河北省、韓国。  
②山西省、陝西省、内モンゴ。

# 【性味効能】

成 分	有効成分は未詳であるが, 含有成分として2', 4'-dihydroxy-5, 6-dimethoxy-isoflavone <sup>1)</sup> , 1-anavanine, フェノール配糖体 <sup>2)</sup> , サポニン <sup>3)</sup> , イソフラボン <sup>4)</sup> などが報告されている. また, 韓国産黄耆の血圧下降成分として $\gamma$ -aminobutyric acid (0, 024%) が主体であると報告されている <sup>5)</sup> .
処方用名	黄耆、綿耆、綿黄耆、箭耆、生黄耆、炙黄耆、オウギ、黄芪
性 味	甘・温
帰 経	脾・肺
効 能	補気昇陽、固表止汗、托毒排膿、利水退腫

# 【薬理作用】

(1) **強壯**：これがいわゆる“補気”である、性ホルモン様作用と中枢神経系の興奮作用に関連するものと考えられる。

(2) **利尿**：作用はかなり顕著で、投与後に尿量が64%増加する、経口投与、静脈内投与ともに効果がある。利尿作用、 血圧降下作用 (水エキス、エタノールエキス)。

**(3) 抗腎炎**：実験的に腎炎に対する拮抗作用があり、とくにタンパク尿に対して効果がある、蛋白尿と高コレステロール血症の発生を遅延する。グリセロールによる尿素窒素とクレアチニンの増加、クレアチニンクリアランスの減少を抑制した。

**(4) 降圧**：動物実験によると、血圧降下作用がある。血管を拡張することによる。

**(5) 血管拡張**：血管を拡張して皮膚の血液循環と栄養状態を改善する。

**(6) 強心**：正常な心臓の収縮を増強する、中毒性、疲労性の心臓衰弱に対する強心作用の方が顕著である。

**(7) 抗菌**：in vitroで赤痢菌A群、溶血性レンサ球菌、肺炎双球菌、黄色ブドウ球菌などに対し抗菌作用がある。マクロファージの産生促進、貧食作用増強効果、抗炎症。

このほか、肝庇護・肝グリコーゲンの減少防止などの作用がある。

## 【頻用疾患】

元気が無い、疲れやすい、息切れ、食欲不振、冷え、子宮下垂、慢性下痢、血便、不正性器出血、しびれ、半身不随、盗汗、皮膚化膿症、久潰不斂、浮腫、自汗、脱肛、多飲、多尿、皮下出血、急性腎炎、慢性腎症、蛋白尿、糖尿病など。

## 【臨床応用】

臨床では、強壯、強心、利尿、止汗薬として、虚弱体質、栄養不良、汗機能不全、急性・慢性腎炎などに応用する。

### (一) 補気昇陽

●脾肺气虚、元気がない、疲れやすい、無力感、食欲不振、息切れ、物を言うのがおっくう、自汗、泥状便などの症候に、人参、白朮、茯苓などと用いる。

方剂例：参耆膏・耆朮膏

●陽虚の冷え・寒がる・寒冷をきらうなどの症候をともなうときは、附子・乾姜などと使用する。方剂例：耆附湯

●大出血後の虚脱や血虚発熱で補気生血が必要なときは、当帰と用いる。方剂例：当帰補血湯

●気虚下陷による内臓下垂・子宮下垂・脱肛・慢性の下痢などの症候には、人参・柴胡・升麻などと使用する。

方剂例：補中益気湯・挙元煎・升麻黄耆湯・昇陷湯



### (三) 補氣摂血

気不摂血による血便、不正性器出血、皮下出血などに、人参、白朮、当帰などと使用する。

方剂例：帰脾湯

### (四) 補氣行滯

●気虚血滯(血痺)による肢体のしびれ、運動障害、半身不随などに、桂枝、白芍、当帰、紅花などを用いる。

方剂例：黄耆桂枝五物湯、補陽還五湯。

●痺痛を呈するときは、防風、姜黄、羌活、当帰などと使用する。

方剂例：蠲痺湯

## (四) 固表止汗

- 表虚の自汗・盗汗に、白朮・牡蠣・麻黄根などと用いる。

方剂例：玉屏風散・牡蠣散

- 陰虚の盗汗にも、生地黄、熟地黄、当帰などと使用する。

方剂例：当帰六黄湯

## (五) 托瘡生肌

気血不足のために癰疽瘡瘍(皮膚化膿症)の化膿が遅い・排膿しない・潰瘍やフィステルを形成する・うすい滲出が続く・瘡口が癒合しないなどがみられるときに、当帰・川芎・白朮・人參・肉桂などと用いる。

方剂例：透膿散・黄耆内托散・托裏消毒飲

## (六) 利水消腫

気虚の水湿不運による浮腫、尿量減少などに、白朮・防己などと使用する。

方剂例：防己黄耆湯

## (七) その他

消渴の多食、多飲、多尿に、生地黄、麦門冬、山藥、五味子などと用い、益気生津の効果をあげる。

# 【使用注意】

用 量	9~15g、大量で30~60g、煎服
処方例	補中益気湯・防已黄耆湯・帰脾湯
使用注意	<p>1、生用すると止汗・利水・托瘡生肌に、蜜灸すると補気昇陽に、それぞれ強く働く。</p> <p>2、性質が温昇で助火し補気固表するので、表実邪盛・裏実積滞・気実胸満・陽盛陰虚・上熱下冷・肝旺多怒・癰疽初期あるいは潰後熱毒尚盛などには用いない。</p>

# 主な参考剤

方剤名	使用上のポイント
補中益気湯	気虚証、全身倦怠感、内臓下垂、気虚発熱
十全大補湯	慢性疾患で貧血気味、皮膚乾燥、眩暈などの血虚と冷えが特徴
人參養栄湯	慢性疾患で貧血気味、不眠、精神不安、咳がある
帰脾湯	気虚による精神不安と、脾不統血による出血傾向
半夏白朮天麻湯	脾虚生湿による風痰上擾、胃腸虚弱なものの眩暈
清心蓮子飲	気陰両虚、心労による不眠、多夢、焦燥感、遺精、排尿困難、排尿痛
大防風湯	肝腎不足、気血両虚の風寒湿痺、慢性疾患で体力が低下し手足が痛む



ご清聴ありがとうございました！